

令和2年度 学校アンケートのまとめ

熱海市立多賀小学校

「自分で考えて行動する子」と「温かなかわりをする子」を柱とし、学校教育目標「未来を切り拓く力の育成」を目指してスタートした本年度もはや、3か月が経とうとしています。昨年度は臨時休校から始まり、様々な行事等が中止、延期、縮小となりました。そのような中、2学期末に、保護者の皆様にもご協力いただいた学校アンケートの集計・分析・考察を行い、本校教育実践の成果と課題をまとめました。未来の南熱海を担う子供の成長を、共に支えるパートナーとして、いっしょにお考えいただければ幸いです。

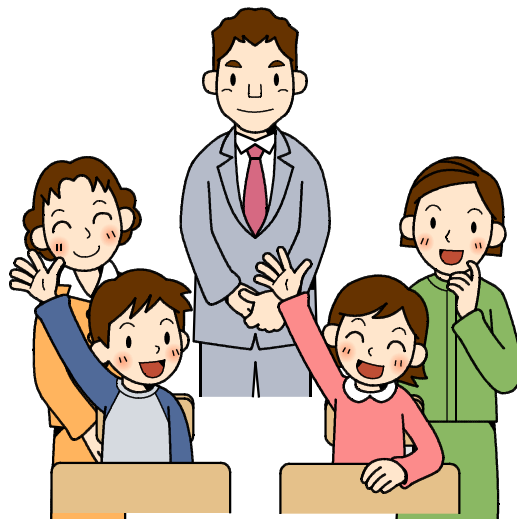
1. クラスの仲間、家の人、先生との信頼関係を土台として、前向きに学校生活を送っている子供たちの様子がうかがえます。

4つの選択肢の内「よくあてはまる」と「すこしあてはまる」という肯定的な回答の割合を合計し、値の大きい順に並べ替えてみました。

肯定的評価の値が高い項目ベスト10

- 1位 わたしのクラスの先生は、勉強や生活で、きちんと指導してくれる【97.8%】
- 2位 わたしの家的人是、わたしが元気で勉強することを望んでくれている【95.5%】
- 3位 家の人と一緒にいると安心できる【94.5%】
- 4位 わたしは、人の話を大切にしている【94.0%】
- 4位 わたしたちのクラスは、遠足の時などみんなで楽しく過ごすことができる【94.0%】
- 6位 自分もやればできるという気持ちがある【92.9%】
- 7位 好きな授業、楽しい授業がある【92.3%】
- 8位 わたしの家的人是、困ったことや分からないことがあると、教えてくれる【92.2%】
- 8位 わたしのクラスの先生は、わたしの気持ちや思いをよく受け止めてくれる【92.2%】
- 9位 わたしが困ったことがあっても、クラスの友達が教えてくれたり、アドバイスをしてくれる【91.7%】

コロナ禍で例年とは違う環境での学校生活となりました。学校は、子供たちがよりよい自分づくりの為に、新しいことや克服すべき課題に立ち向かう学びの場であることは変わりません。“がんばる気持ち”をもつためには「見守り、認めてくれる大人」や「競い合ったり、助け合ったりできる仲間」は、なくてはならない存在です。結果から、自分は家の人や担任にも支えられていると感じるとともに、友達とよりよい関係を築こうとしながら学校生活を送っている様子がうかがえます。



2. 話し合う力・対話力には、まだ課題があるようです。

- ・自分の気持ちや言いたいことを、友達や先生、家の人に伝えている【71.9%】(-3.3)
- ・話し合い活動では、誰でも進んで意見を発表することができる【63.0%】(-7.2)
- ・クラスはお互いを信頼し、隠しごとをせずに何でも話し合える【64.1%】(-4.2)

この項目については、昨年度の考察においても、レベルアップしたい力として取り上げていました。()内は、昨年度の結果との差を表しており、数値的には全てが下がってしまいました。本来であれば、児童会活動などで、学級代表がクラスの意見を持ち寄りよりよい学校生活や、児童会活動のあり方を検討するといった場面を意図的に設定し力を伸ばしていきたくはあったのですが、コロナ禍で一堂に会する機会を制限しなければならず力を伸ばすことができませんでした。わたしたち教員は、この結果を真摯に受け止め、制限がある中でも何か方法はないか知恵を絞り、課題として取り組んで参ります。考えられる手立てとして、人間関係プログラム(個々のアンケート結果を基に対人関係や集団の状態を分析・改善をはかるもの)の有効活用、個性や伸びを褒め励まし、自己肯定感を高めるボイスシャワー活動の強化などが挙げられます。

子供たちが未来を切り拓いていくためには、「解決したい」「克服したい」と子供たち自身が思える課題を見つけ出し、さまざまな資源(知識・経験・人・もの・事など)を利用して解決をめざすような、主体的・対話的で深い学びを、生み出すことです。これには、手間や時間がかかります。また、聞き役、相談役、励まし役としての保護者のサポートも不可欠です。ご協力をよろしくお願いいたします。

3. 保護者の方々による温かな眼差しが、子供や教師の活力です。

保護者アンケートの結果は毎年高く、本当に勇気づけられています。しかしながら昨年度と比較するとほとんどの項目で数値が下がってしまいました。コロナ禍で、学校でのお子さんの様子を参観していただく機会が減少してしまったこと、また懇談会が開催されず学校や学級の方針を保護者の方にしっかりと伝えることができなかつたことが要因と考えています。昨年度の結果を踏まえ、今年度につきましては、制限はありますが、昨年より頑張る子供たちの姿をみていただける機会を増やしていくように努力して参ります。



数値が高かった項目

- 1位 お子さんのがんばりや成長に対する期待を感じている【94.1%】
- 2位 困ったことでも、お子さんと相談できる【92.8%】
- 3位 学校の行事等に、積極的に参加している【91.5%】
- 4位 子どもが通っている学校に愛着を感じる【90.3%】
- 5位 子ども心の教育や健康づくりについて、学校に期待している【90.2%】

(文責：昨年度教務主任 小柳津友助)